

A. 主な動き

1. 内政

▼閣僚人事

・4日、国家安全保障国防委員会は、20日の会議でエジェリ国防相の処遇を議題に取り上げる予定と発表。グリツェンコUNSC議員は、同国防相は同会議において罷免され、後任にクジムク元副首相が任命される見込みと発言。

▼森林火災

・4日から5日にかけて、イワノ・フランキフスク州で森林火災が発生し、約1,000ヘクタールが延焼。
・5日、ヤヌコーヴィチ大統領は、各地の森林火災に対応するため国家安全保障国防委員会臨時会議を招集し、クリューエフ第一副首相を森林火災対応最高責任者に任命。各関係機関責任者に休暇を中断して対応にあたるよう指令し、自らもクリミアよりキエフに戻ると発表。

▼その他

・3日、ヤヌコーヴィチ大統領は、クリミア発展戦略会議において、今後のウクライナ全体の発展のためにクリミア開発は重要な要素となると発言。
・3日、メジュリス（クリミア・タタール民族組織）は、同日予定されていた同組織幹部とヤヌコーヴィチ大統領との会談を急遽中止。

2. 経済

▼マクロ統計

・6日、国家統計局は、7月の消費者物価指数が対前月比0.2ポイント減の3.1%、7月の工業製品物価指数が対前月比0.2ポイント減の14.1%と発表。

▼財政・税制

・4日、クリューエフ副首相は、2011年度予算はパブリックコメントに付される予定の税法・財政案を考慮して編成しなければならないと発言。
・4日、チギブコ副首相は、閣僚会議傘下のワーキング・グループが税法案作成作業を完了、同案は閣僚会議に提出されると発言。また、同税法案では、輸出業者のVAT還付ルールが盛り込まれ、法人税の算定方法を企業会計の算定方法と近い内容とし、また、銀行・金融機関の税法を欧州スタンダードにしたと説明。

▼VAT還付問題

・4日、財務省は、8月に160億グリーブナのVAT債を発行する予定と発言。また、VAT債の第1トランシェで得られた4,850万グリーブナにより、705社のVAT還付が行われる予定である、現在、VAT還付が必要な2,000社の企業リストがあると説明。

▼農業

・2日、アダメンコ農業気象センター長は、長期間の猛暑により穀物収穫減は不可避と発言。また、猛暑により、トウモロコシの収穫量は当初見込みより30%減少するかもしれないと説明。

・3日、チギブコ副首相は、穀物輸出を妨げるいかなる経済的な理由もない、穀物輸出を不法に遅延させる当局決定は廃止されるべきであり、そのような不法行為は罰せられなければならないと発言。また、2010年の穀物生産高は約4,000万トンと見込まれているが、これに加えて600万トンのストックがあり、これにより国内需要を賄うことは可能であり、1,700万トン輸出可能であると説明。

・4日、スラウタ農業政策副大臣は、ウクライナは異常気象の隣国と状況は異なり、穀物輸出を制限する必要はないと発言。

▼ガス問題

・2日、ボイコ燃料エネルギー相は、黒海及びアゾフ海大陸棚開発に今後5年間で70億グリーブナを投資する予定と発表。

・2日、ボイコ燃料エネルギー相は、ストックホルム仲裁裁判所におけるナフトガス側の主張変更は、前ティモシェンコ内閣のイニシアティブによるものと説明。

・2日、ボイコ燃料エネルギー相は、ウクライナのガス輸送システム近代化に12億ドル投資すれば、毎年15億立方メートルの天然ガスが節約可能と発言。

・4日、ナフトガスの子会社で天然ガス輸送を担当するウクルトランスガス社は、今年1月～7月で対欧州天然ガストランジット量が、昨年同期比で21パーセント増加、560億立方メートルに拡大と発表。

・4日、バクーリン・ナフトガス社長は、地下貯蔵施設に196億立方メートルの天然ガスが貯蔵中で、暖房シーズン開始までに約270億立方メートルまで貯蔵を拡大の予定と発表。

・6日、ナフトガスは、7月分の対露天然ガス代金約7億8,000万ドルの支払い完了を発表。また右発表によれば、本年第3四半期のガス価格は、1千立方メートルあたり約248ドル。

▼その他

・2日、EBRDは、キエフに入る幹線道路整備のため4億5,000万ユーロのローンを提供すると発表。

3. 外交

・2日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ジョーミン駐カザフスタン・ウクライナ大使と会談、ナザルバエフ・カザフスタン大統領のウクライナ来訪にかかる準備を指示。

・4日、外務省は、ウクライナ・露間（地上部）国境画定合意が

発効、今後は国境標識設置に向けウクライナ・露合同委員会が創設されると発表。

4. 防衛

▼海賊被害

・3日、外務省は、ソマリアの海賊により拿捕され未だ解放されていないウクライナ船員が2名であると発表。1名は「Eleni P」に、1名は「Marida Marguerite」に搭乗している。

・5日、外務省は、客月29日にソマリアの海賊から解放されたトルコ船「Frigia」に搭乗していたウクライナ人2名が帰国し

たと発表。

▼その他

・31日、ヤヌコーヴィチ大統領は、ウクライナの防衛産業複合体は時代の要求に応じて改革されるべきであると発言。

・31日、エンジン製作会社「Motor Sich」ボグスライエフ会長は、ロシアとウクライナの共同開発軍用輸送機アントノフ70に対する資金提供が予想より少なく、いつアントノフ70初号機を納入出来るか具体的に述べるのは難しいと発言。

(了)